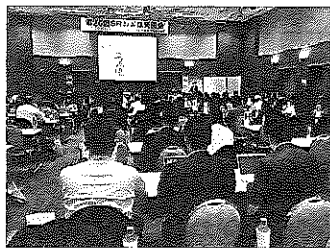


データ・SR活用事例紹介 「取組みの達人」から学ぶ

データ・SR活用事例紹介は9日、東京・大田区産業プラザで第26回SRお客様交流会を開催した。

ロジパルエクスプレス 輸送事業部の赤石澤慎氏が「SRの活用で事故を



お客様交流会の様子

口を指す」と題して講演。エコドライブ活動により車両事故減少に取り組んだが、さらなる徹底を図るため2009年に

セイフティレコーダー(SR)を導入。SRを活用した各種キャンペーンや運輸安全マネジメン

トの取組みなどを紹介。今後の課題として「重大事故の前兆を見逃さない

ように、SRをきちんと使い切る」と話した。

新プログラムの「取組みの達人に聴く」では、伊ワタ輸送センター、八

洋、JX金属コイルセンター、大成運送、トランス・クリップの5社がSRを使った取組みを紹介。「点数の低い運転手

を共有する」など、各社の事故防止に向けた工夫が目立った。また、参加者の質問にも、体験を交えた回答がなされた。その後の分科会ではテーマに沿った意見交換を行った。